認定特定非営利活動（NPO）法人
柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 10
Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①日中友好青島柔道館の子どもたち（神奈川県・秦野市） ②リサイクル柔道衣を持った子どもたち（ネパール・バクタプル市） ③柔道指導を行う橋本副理事長（中国・南京市）
④ネパールからのエヴェレスト（ネパール・カトマンズ市） ⑤第6回通常総会（東京都・国際文化会館） ⑥日中友好南京柔道館からのメッセージ

国際的な柔道の普及―「自他共栄」を実現するために

―To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟（IJF）には、200の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

―We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされております。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

―Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育成することが大切であると考えております。

※柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁より認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。

認定特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー会報第10号
2011年8月1日発行　Published 1st of August 2011
発行人：山下泰裕
発行所：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学 体育学部 柔道研究室

Address：4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa Japan, 259-1292
ＴＥＬ：0463-58-1211（内線3524）
ＦＡＸ：0463-50-2230
Email：judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 10

http://npo-jks.jp

柔道　友情　平和　検索

柔道教育ソリダリティー役員

Officials of Solidarity of International Judo Education

2011年6月2日に行われた第6回総会で役員が承認されました。役員の就任期間は、2011年7月1日～2013年6月30日です。

理事長

山下 泰裕 （(学)東海大学理事・体育学部長）

副理事長

橋本 敏明 （(学)東海大学評議員・体育学部教授）

理事

秋山 創一 （(株)電通 執行役員）
小川 郷太郎（三井住友海上火災保険(株) 顧問）
加藤 暁子 （日本の次世代リーダー養成塾 事務局長）
阪 和彦 （アスカコーポレーション(株) 代表取締役社長）
髙木 善之 （NPO法人ネットワーク「地球村」代表）
蓑宮 武夫 （(有)みのさんファーム 代表取締役）
上治 丈太郎 （ミズノ(株) 取締役副社長）
小田 全宏 （NPO法人日本政策フロンティア 理事長）
小林 昭夫 （(株)博報堂DYメディアパートナーズ 取締役常務執行役員）
仙石 通泰 （(株)三技協 代表取締役）
早川 信正 （早川繊維工業(株) 東京支店 専務取締役）
矢野 弘典 （中日本高速道路(株) 顧問）

監事

小出 將惠 （小出会計事務所 所長）
中野 根二郎 （京王電鉄(株) 顧問）

（50音順）

主な活動 （2011年1月～2011年6月）

- Major Activities -

年 月 日	内 容
2011年1月27日～31日	「日中友好青島柔道館」の役員・子どもたちが来日（東海大学・望星学塾など）
2011年1月	リサイクル柔道衣50着がバヌアツに到着
2011年3月7日～12日	村田正夫氏を中国・南京の「日中友好南京柔道館」へ派遣
2011年4月30日～5月4日	橋本敏明副理事長・学生ボランティア2名を中国・青島「日中友好青島柔道館」へ派遣
2011年4月	リサイクル柔道衣50着がネパールに到着
2011年5月31日～6月4日	「日中友好青島柔道館」の役員3名が来日（東京・宮城など）
2011年5月	リサイクル柔道衣50着がグアテマラに到着
2011年5月	リサイクル柔道衣50着がパラオに到着
2011年6月2日	2011年第1回理事会・第6回通常総会・第10回講演会を開催（東京・国際文化会館）
2011年6月	リサイクル柔道衣100着がベネズエラに到着

1

2

※1 届いたリサイクル柔道衣を着たバヌアツの柔道家たち
※2 東海大学でリサイクル柔道衣の管理、送付を行っている学生と事務局と一緒に

※1 Vanuatuan judoists wearing recycled judogis sent from us.
※2 Students and Secretariat members who manage and ship recycled judogis at Tokai University

日本の心、柔道を世界へ伝えるために

柔道用品（柔道衣・畳）の支援

2011年度は、柔道衣617着（12ヵ国）、を送りました。

JICAシニア海外ボランティアとして、グアテマラで活動中の杉山允宏氏よりリサイクル柔道衣の礼状が届きました。

For our donation of judogis, we have received a letter of appreciation from Mr. Masahiro Sugiyama, who is working in Guatemala as a senior overseas volunteer of the Japan International Cooperation Agency (JICA).

杉山允宏氏からのメッセージを紹介します。

私は、JICAシニア海外ボランティアとして、2010年10月5日から2年間、グアテマラ共和国の国立文化・スポーツ、ラ・デモクラシア公園で体育・柔道指導支援を行っております。橋本敏明氏、柔道教育ソリダリティー事務局を通じ50着の柔道衣の寄贈していただき、心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。

ラ・デモクラシアでは、午前中に2コマの学校体育があります。年齢は6歳から17歳までの小・中・高校生ですが、1クラスの人数は10人～30人で年齢差が4年くらいあり、その中から柔道を希望する子どもを対象に体育を行っております。その他、早朝の大人柔道クラブA、午後3時からの子ども柔道クラブ、4時からの大人柔道クラブBの3クラスがあり、問題点は多々ありますが、1日に5コマのクラス(授業)をこなしています。これらの実態を写真で紹介し、お礼の挨拶とさせていただきます。

柔道場はコンクリート上に敷かれた60畳の広さで、道場に他のスペースがありません。柔道衣の管理が出来ないので紛失が心配です。ガードマンが常在しているので、指導者には常に留意するよう言っています。この半年間、よく練習に来る人には、一式プレゼントをしました（15人くらい）。保管庫を要求していますが、お金が無いが口癖で、開発途上国の困難さが身に沁みます。問題点は、洗濯と、衛生と管理であります。今のところ、杉山の許可が無いと使用厳禁にして管理を行っております。

リサイクル柔道衣を手にした、ラ・デモクラシア公園の事務職員と

しっかりと管理されたリサイクル柔道衣

ネパール、バクタプル市「Nesting Home」よりリサイクル柔道衣50着の礼状が届きました。「Nesting Home」とは、親が刑務所に入っている子どもたちの世話をしている施設です。JICAシニア海外ボランティアでネパールで活動されている村山隆雄氏を通し、柔道衣を施設に届けしました。

We have received a letter of appreciation from Nesting Home in Bhaktapur City, Nepal, for our donation of 50 judogis. Nesting Home is a facility for taking care of children whose parents are in prison. We sent judogis to the facility via Mr. Takao Murayama, who is working as a senior JICA volunteer in Nepal.

寄付された柔道衣を大切そうに抱えたNesting Homeの子どもたち

ネパールのPrisoner's Assistance Mission（囚人支援の福祉施設）の「Nesting Home」への柔道衣の寄贈の件でお世話になっている村山隆雄です。4月11日に、先に到着しました柔道衣を同ホームに寄贈いたしました。子どもたちは、我々が到着するまでは、贈っていただいた柔道衣に袖を通さないで待っていてくれました。たくさんの方々のお陰で柔道衣を手にした子どもたちの笑顔を見ることができました。心より感謝申し上げます。　村山隆雄拝

Namaste!! I am sorry for the delay in sending receipt and photos of PAM Children. I am sending some photos of children playing Judo and receipt of Judo dress which was sent by Judo Office Japan. On behalf of PAM I would like to thank to Judo Office. We have received Thank you very much for your kind support and help to PAM. We highly appreciated your contribution and support to PAM Children. Thank you very much.

ナマステ！受取の報告が遅くなってしまい申し訳ありません。柔道衣を受け取った子どもたちの写真をお送りいたします。柔道衣を寄付して下さった皆様、ありがとうございます。私達は先日、柔道衣を受け取りました。皆さまの親切な支援に心から感謝を申し上げます。　Nesting Home

外務省を通じて送付したリサイクル柔道衣100着が2011年6月に在ベネズエラ日本大使館に到着し、ベネズエラ中央大学に贈呈されました。

In June 2011, 100 recycled judogis that we sent through the Ministry of Foreign Affairs of Japan arrived at the Japanese Embassy in Venezuela. These judogis were then donated to Central University of Venezuela.

ベネズエラ中央大学（UCV）柔道部での記念撮影

在ベネズエラ大使塩口氏がUCVの子どもたちに柔道衣を贈呈してくださいました

このリサイクル柔道衣は、在ベネズエラ大使館日本大使館の塩口哲朗大使を通じ、ベネズエラ中央大学に寄付をしました。2011年7月22日に行われた柔道衣の贈呈式には、ベネズエラ中央大学のスポーツ局長、副局長、柔道部の方々が参加しました。式では、本法人の紹介映像の上映が行われました。ベネズエラ中央大学柔道部ヘッドコーチのラミーロ氏は、「寄付をして下さった塩口大使、柔道教育ソリダリティーに大変感謝している。寄付された柔道衣を厳重に管理し、他の柔道クラブにも貸し出すことで、今後の我が国の柔道の発展に利用したい」と話しました。

第10回講演会　「英国帰国報告 －2年間の留学を語る－」

2011年6月2日、東京・国際文化会館（別館講堂）にて、第6回通常総会後に第10回講演会を開催しました。「井上康生氏、英国帰国報告－2年間の留学を語る－」の演題で、井上康生氏が講演を行いました。

雨の中、多くの聴講者が集まった国際文化会館

このような活動ができるのは、家族の理解があってこそ、と話した井上氏

On June 2, 2011, after the 6th ordinary general meeting, the 10th lecture meeting was held at the Lecture Hall Annex, International House of Japan. Mr. Kose Inoue gave a lecture titled “Mr. Kosei Inoue Reports on His Two-year Training in the United Kingdom.”

会場の国際文化会館(別館講堂)には、100名以上の聴講者にお集まりいただきました。

講演会の初めに、山下理事長から2010年12月に行ったイスラエル・パレスチナ柔道少年の招へい事業について、次に橋本副理事長より2010年12月に訪問した「日中友好南京柔道館」の報告がありました。

講演会では、井上康生氏が2009年1月から2011年1月までに日本オリンピック委員会から英国に派遣されたスポーツ指導者海外研修員としての2年間について報告を行いました。エジンバラ柔道クラブとロンドンにある武道会を中心に行った研修では、日本的な柔道を行っており、日本の柔道と英国の柔道は本質的に大きな違いを感じることはなかったこと。反面、コーチングに関しては、各選手にそれぞれ自分で考えさせ、実行させていくという違いがあったことなどを話しました。

今回の留学中に、20カ国以上の国を訪れたが、カナダでNicolas Gill氏と再会した際、「選手時代は、ライバルだったけれど、柔道に対する心は一緒だった。これから柔道の発展のために、お互いに力をつくそう！」と、交流をしたことを紹介しました。

2010年7月、山下理事長と訪れたイスラエル・パレスチナで、両地域の子どもたちの中に確執があるのを感じたが、一緒に柔道を行っていく中で少しずつそれが溶けていく様子に、「柔道は、平和に貢献できると実感した」と話しました。「今は、どのような指導者になればいいのか模索中だが、今後、自分自身を高めて行き、指導をしていく中で皆と一緒に成長していきたい。最強の柔道家ではなく、最高の柔道家を目指したい」と、抱負を述べました。

柔道を通じた異文化交流、異文化理解のために

日中友好南京柔道館へ指導者を派遣

2011年3月7日～12日、びわこ成蹊スポーツ大学の村田正夫准教授を中国、南京市「日中友好南京柔道館」へ派遣しました。

We dispatched Mr. Masao Murata, Associate Professor at Biwako Seikei Sport College, to Nanjing Japan–China Judo Friendship Center, China, from March 7 to 12, 2011.

劉俊林館長と村田正夫氏、柔道館の日中の国旗の前で

練習に参加した柔道館の子どもたちと

びわこ成蹊スポーツ大学　村田正夫准教授からの報告です

2011年3月7日から12日までの約一週間、上海領事館の要請、特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティーからの委嘱を受け、中国南京市において開催された「南京ジャパンウィーク2011」行事の一環である中日友好南京柔道館完成1周年記念行事へ参加するために現地に赴いた。

今回の記念行事は、柔道を通して青少年の日中交流の推進を図ることが目的とされていた。「日中友好南京柔道館」に通っている青少年を対象に、柔道の精神（礼儀作法・相手を思いやる心）に関する講演、デモンストレーション、形の披露、実技指導等を行った。

この「日中友好南京柔道館」は、南京市重競技運動学校内にある女子柔道場を整備したもので、名誉館長に東海大学体育学部長の山下泰裕先生、館長には1987年に開催されたエッセン世界選手権の中国代表であり、現中国ナショナルチームのコーチである劉俊林（Liu Jun Lin）先生が在籍されている。

私が本柔道館を訪問した期間は、この学校で柔道の修行に励む学生たちに加わり乱取を実施する他、得意技である内股を主とした技の説明や組み方、少年柔道の指導等、積極的に交流を深めた。その中で印象に残っていることは、組み方の説明時に、「相手の利き手に関係なく、常に引き手から握り、奥襟を取る柔道は、技を掛ける際に前回り捌きしか使わないので攻撃がわかりやすい」と指摘すると、とても興味を持ち様々な質問をしてきたことであった。

最終日の柔道館の一周年記念行事では、「柔道上達のために」と題し、講演を行った。「理にかなった技を掛ける重要性」「柔道が世界へ広がり、その技術も変わってきていること」等について話を進めていきながら「不易流行」の言葉の意味を通して、柔道がどんなに発展しても変えてはいけないもの、柔道が持つ教育的価値について触れ、柔道の本質を理解してもらえるよう努めた。また柔道の形では、現地の学生が「投げの形」、私は得意技等の披露を行った。限られた時間であったが大盛況のうちに閉会となった。

日中友好青島柔道館へ指導者を派遣

2011年4月30日～5月4日、柔道の普及・振興の調査事業として、橋本敏明副理事長及び東海大学大学院体育学研究科の穴井亮平君、学生ボランティアとして武道学科4年の椎谷良平君を中国、青島市「日中友好青島柔道館」へ派遣しました。

Under a research program aimed at popularizing and promoting judo, we dispatched Assistant Executive Director Toshiaki Hashimoto, Ryohei Anai, a student of the Tokai University Graduate School of Physical Education, and Ryohei Shiiya, a volunteer student who is a senior learning at the Department of Judo and Kendo, to the Japan–China Judo Friendship Center in Tsingtao, China, from April 30 to May 4, 2011.

2011年4月30日～5月4日の間、中国の青島にある「日中友好青島柔道館」に橋本敏明先生と椎谷良平君と私の3人で柔道指導に行かせていただきました。1試合場分ほどの畳の道場の横のスペースにはテーブルが置いてあり、保護者の方々がお茶を飲んだり、新聞を読んだりしながら稽古の様子を見学していて、とても温かいアットホームな雰囲気のある柔道クラブでした。指導は国際武道大学や東海大学で柔道を学んだ王華さんを中心に、5～6人のコーチが、幼稚園生～中学生までの生徒を相手に丁寧かつ厳しく行っていました。道着が乱れていたり、人の話を聞いていない生徒がいると、その都度、練習を止めて話をされていて、技術だけでなく教育的な部分の指導もしっかり行っているところを見て、私も見習わなければいけないと痛感しました。指導者自身が柔道の本質的な部分をしっかり理解した上で指導を行っていると感じ、本当に感動しました。

私は橋本先生とともに技術指導をさせていただいたのですが、子どもたちにも分かるように説明することの難しさと言葉が通じない中での指導の難しさを痛感しました。説明不足の部分もあったと思いますが、子どもたちは身を乗り出すようにして話しを聞いていて、見えにくいところは覗き込んだり、分からない部分は質問してきたりと、とても熱心に取り組んでくれていました。子どもたちはもちろんですが、それ以上にコーチの方々も熱心に説明を聞いている姿を見て、これから日中友好青島柔道館はさらに発展していくと感じました。練習にも参加させていただいたのですが、取り合うようにして私に稽古をお願いしに来て、本当に楽しそうに、一生懸命に柔道をやっていました。

その他にもいろいろな青島の名所を案内していただき、中国の歴史や文化に触れることができました。今回の研修での数多くの貴重な経験を通して、柔道は国際交流にとても有効であると感じました。このような経験をさせていただいた日中友好青島柔道館館長の徐先生やコーチの王華さん、たくさんの中国の方々、また、柔道教育ソリダリティーの皆さまに大変感謝しています。最後に日中友好青島柔道館の今後の活躍を祈っています。本当にありがとうございました。

東海大学体育学研究科2年　穴井 亮平

橋本副理事長と穴井君の技術指導は、王華さんの通訳で行った

徐殿平館長が柔道の練習を行っていた砂浜で

日中友好青島柔道館の子どもたちと

真剣に練習を行う青島柔道館の子どもたち

熱心に技の説明を受ける子どもたち

今回4月30日～5月4日まで日中友好青島柔道館にNPO法人柔道教育ソリダリティーから柔道指導のために橋本敏明先生、穴井亮平先輩とともに派遣されました。初めての中国で不安でしたが、皆が親切にしてくれたおかげで充実した5日間となりました。

「日中友好青島柔道館」では、指導者5～6人、生徒は小学生を中心とした20人前後の人数で練習を行っていました。1日目、2日目は、穴井先輩が立技(体落)の指導をし、技の指導の後には立技の乱取りも行いました。3日目の午前は、私が考えたメニュー「みんなで怪我をせずに体力をつける！」を目標にトレーニングをさせてもらいました。午後は穴井先輩と私で寝技の指導をしました。穴井先輩はネルソンを教え、私は腕取りを教えました。その練習のときに、初めてやったはずなのにすぐにできる子どもがいたのが驚きでした。中国人は勘が鋭いと、私は思いました。4日目は、先生方に投の形(足技まで)の指導をしました。私の中で形というのは、柔道の技や崩しなどを覚えるためには必要だと思っています。しかし、外国人はあまり形をやっているというイメージがありません。そのときに、教えていて思ったことは技以前に継ぎ足や並足がわからなかったことです。柔道の根本から知っていくことは大事だと思います。

この4日間の練習をしてきて私が感じたことは、中国と日本での子どもたちの柔道に取り組む姿勢の違いです。中国では、指導者だけではなく生徒一人ひとりが真剣に話しを聞いていました。私は、東海大学ジュニアスポーツククラブで週2回小学生を教えていますが、同世代の子どもたちを比べてみても、柔道に取り組む姿勢が違うと実感しました。

練習以外では、「日中友好青島柔道館」ができる前に徐先生が練習をしていたという砂浜に行き、穴井先輩と投げ込みをしました。私の頭の中では、柔道は畳の上でやるものとしか考えてなかったので驚きました。そのため、いざ投げられるとなったときは恐怖感がありましたが、意外に痛くありませんでした。砂浜の砂がすごく細かかったからだと思いました。しかし、ここで打込みや乱りをしたら足が砂に取られるし、寝技はこのような砂浜では練習にならないと思いました。世界中で、このように畳以外で柔道をしている国があるのではないかと思い、これから私たちに何ができるかを考えました。世界中の人々に柔道を普及させるために、日本の指導者がもっと世界で指導できるような環境が出来れば良いと思います。そして、柔道で世界が繋がり・世界が一つになっていけるような活動をしていきたいです。最後になりますが、このような貴重な体験ができた事はNPO法人柔道教育ソリダリティーの皆さま、「日中友好青島柔道館」の徐先生、王華さんの協力があったからです。本当にありがとうございました。

東海大学体育学部武道学科4年　椎谷 良平

日中友好青島柔道館の子どもたちが来日

2011年1月27日～30日の期間、中国・青島市「日中友好青島柔道館」の子どもたちが来日し、東海大学、秦野市立大根小学校、望星学塾を訪問しました。

From January 27 to 30, children from the Japan–China Judo Friendship Center in Tsingtao, China visited Japan. These children visited Tokai University, Hatano Municipal One Elementary School, and Bosei Gakujuku.

松前柔道塾の子どもたちと練習後に記念撮影

秦野市立大根小学校の皆さんが歓迎の演奏をして下さいました

望星学塾での練習風景、日中間で友達もできました

小学校の授業を体験、前に出て黒板に答えを書きます

2011年１月27日～30日、中国、青島市の「日中友好青島柔道館」の子どもたち10名、役員4名が来日しました。初めに東海大学湘南校舎を訪問し、湘南松前柔道塾の子どもたちと一緒に柔道の練習を行いました。

2日目には、東海大学の近くにある、秦野市立大根小学校を訪問し大根小学校の3年生と交流会を持ちました。小学校では、3年生が集合して、子どもたちを出迎えてくれました。事前に折り鶴を折って下さり、プレゼントをして下さいました。体育館では、ドッジボールや日中対抗綱引き等、交流し、教室では模擬授業に参加させていただきました。初めて見る日本の小学校に、初めは緊張気味だった青島の子どもたちたちですが、漢字の問題に手をあげて答えるなど楽しんでいました。中国の学校と比べて、文化的にも学習の内容にも違いがあったようですが、逆にそれがとても良い体験となりました。最後は、皆で教室の掃除を行いました。「教室の掃除をするのは、初めて！」という子どもがいたのが印象的でした。青島の子どもたちに、日本の同世代の子どもたちの生活を体験させて下さった、大根小学校の皆さまに心より感謝申し上げます。

最終日には、望星学塾（東京・武蔵野市）に移動し、松前柔道塾の子どもたちと交流をしました。中には、望星学塾に来るのが3回目の子どももおり、松前柔道塾の子どもたちと再会を喜んでいる場面もありました。

2011年1月私たちと王先生は日本に行きました。私たちは東海大学の近くの大根小学校を見学しました。この学校の地面はとてもきれいでした。わたしたちは日本の友達とボール遊びしました。日本の友達は私たちのために歌を歌ってくれました。大根小学校の温かい歓迎でした。　リウ・ヤオクム（刘曜昆）

ぼくたちは大根小学校を見学しました。ぼくたちは3年生の授業を見学しました。国語、理科、算数、それと習字でした。算数の時間、ぼくは手をあげました。日本の小学生はぼくたちと同じ1日です。最後は校長先生と先生は車で宿舎まで送ってくれました。とても親切でした。
ぼくたちは毎日朝早く日本の友達と一緒に柔道をしました。一緒にゲームをして練習をして試合もあります。日本の子どもたちの柔道の練習は一生懸命でまじめで心が強いです。練習が終わるととても疲れたけれど、彼らからたくさんのことを勉強しました。これから柔道の練習のときはぼくも彼らみたいにまじめにがんばります。最後の日は中学生の試合を見ました。とてもすばらしいです。ぼくもこんなふうになりたいです。　ゾウシ・ユエ（周子岳）

二日目に訪れた大根小学校では、皆学校の中では皆が同じ靴に履き替え、放課後は自分の靴に履き替え家に帰っていました。私たちは彼らの歓迎の出し物を観ました。それから一緒にバレーボール等をしてたくさん遊びました。小学校の校長先生は私たちと一緒に教室を見学して記念品をくれました。「礼には礼をもって返す」、私たちも日本の友達に贈るため準備してきたものを贈りました。
帰る前に日本の友達は私たちを屋上に連れて行き、一緒に日本で一番高い山「富士山」を見ました。富士山は、山頂に雪が残り大きくて美しかったです。
また、私たちは日本の柔道館で練習し、日本の友達と試合をしました。私たちと彼らとの試合は友好ムードではなく真剣勝負でした。
ザン・ユーウェイ（张聿炜 ）

日本の2日目、ぼくたちは大根小学校へ行って日本の小学生がどんなことをしているか見学に行きました。
ぼくたちは靴をかえて体育館に入って日本の子どもたちの出し物を見ました。はじめは小さなピアノを弾いていると思いましたがそれは口で吹くものでした。ドッジボールのあとに屋上に行って遠くの高くて雪がある富士山を見ました。登ってみたくなりました。
それから教室に行って日本小学生と一緒に国語、算数、習字の授業に出ました。最後には、校長先生と先生は自分の車で宿舎まで送ってくれました。ぼくはずっと笑っているここの先生たちがとても好きです。
ほかの日には、ぼくたちは早朝と午後に柔道の練習をしました。一緒に走ったりゲームしたり練習したり試合したり、あと綱引きもしました。プレゼント交換もしました。日本の子どもたちは練習のとき、とてもまじめで一生懸命で気合が入っていました。中学生の試合も見ました。ここで日本の柔道精神をみました。ぼくも帰ったら彼らみたいな練習をします。　ゾウシ・ヨウ（周 子洋）

1月25日、私はとてもドキドキしながら青島空港へ行きました。今回が私にとって初めての出国です。私たちはまず青島から北京へ行き、北京空港から乗換えで日本へ行きました。
3日目、先生は私たちを日本で有名な松前柔道館へ連れていってくれました。私たちは柔道着に着替え、日本の友達と友好試合をしました。試合後、私たちの代表と日本の友達とのプレゼント交換を行いました。私たちは中国を代表する結びのペンダントを贈りました。日本の友達が贈ってくれたのはシャープペンシルでした。私たちはとても嬉しくて、言葉が通じなくても笑顔を伝えました。私たちはとてもいい友達になれました。心の中は喜びで一杯でした。短かったですが日本旅行は終わりました。本当はもっと滞在したかったです。きれいな日本、日本の友達の笑顔、すべていい印象で私は日本が好きです。また行きたいです。帰国してから時間があれば日本語を勉強しています。次に日本へ行ったとき日本の友達ともっと交流します。日本の友達も中国へ来てほしいです。みなさん待ってます！　ファン・ガオ（范高）

日中友好青島柔道館の役員が来日

2011年5月31日～6月4日、「日中友好青島柔道館」の役員3名が来日しました。6月2日に、東京で第10回講演会を聴講し、6月3日～6月4日には東日本大震災の被災地を訪問し、石巻市に義援金を寄付しました。

来日した日中友好青島柔道館の役員と

第10回講演会を聴講する徐殿平氏ら

From May 31 to June 4, three officials from the Tsingtao Japan–China Judo Friendship Center in Tsingtao visited Japan. They visited the areas hit by the Great East Japan Earthquake from June 3 to 4, and donated relief money to Ishinomaki City.

日中友好青島柔道館　王華さんからの報告です

こんにちは、お元気でいらっしゃいますか？今回、私達の日本滞在の為に色々と手配をして下さり、ありがとうございます。

6月3日に訪れた宮城県石巻市の被災地は、元々の街並みが無くなり、何もかもありませんでした。テレビや新聞で見たのと、全く違う空気感に、私達は、とても悲しく感じました。現場を実際に見た時に、自分の心の中にすごく重い物が入り込み、息が苦しくて苦しくてたまらなくなりました。途中で家を探しているおばさんを見かけました。そして、私達は、津波が来た時に非難を呼びかけ続け皆の命を守るために亡くなってしまった女性のアナウンサーの話を聞きました。私達は、その彼女に御茶を献上しました。向こうにいる時に喉乾かないように、私達にはそれくらいしかできません。けれど、彼女のことは、今生きている方々が一生忘れないと思いました。

地震が起きた後に、原子力の問題も起こってしまいました。現在、中国の多くの者は、日本に行くことを怖がっています。道場の子どもや父兄の方々に、今回私達が日本へ行くことを反対されました、ただ、徐先生は「日本は大丈夫。皆、普通に生活しています。それを実際に日本に行き、自ら伝えたいのです」と言いました。日本に行き、帰国してから私達は、日本の状況を皆に胸を張って「日本は大丈夫」と伝えます。お忙しい毎日をお送りかと思いますが、体にお気をつけて下さい。

今後の活動予定

IAJR（国際柔道研究者会の）支援

2011年8月、世界柔道選手権大会（フランス・パリ）に併せて行われるIAJRシンポジウムに山下が講演を行います。

In August 2011, Executive Director Yasuhiro Yamashita will give a lecture at the IAJR symposium to be held in conduction with the World Judo Championships (Paris, France).

柔道選手の受入

ロシア女子柔道指導者を半年間、イスラエル・パレスチナ若手指導者、アフガニスタン女子柔道選手を短期間の予定で受け入れます。

We will accept Russian female judo instructors for half a year, as well as young instructors from Israel and Palestine and Afghan female judo athletes for a short term.

柔道指導者の派遣

2011年9月米国・メリーランド州アナポリスの海軍士官学校へ大川康隆氏（東海大学）、2012年1月、イスラエル・パレスチナへ村田正夫氏（びわこ成蹊スポーツ大学）を派遣します。

In September 2011, Mr. Yasutaka Okawa (Tokai University) will be dispatched to the United States Naval Academy in Annapolis. In January 2012, Mr. Masao Murata (Biwako Seikei Sport College) will be sent to Israel and Palestine.

柔道教室

2011年10月、望星旗少年武道大会（柔道の部）を支援、11月宮城県石巻市で柔道教室を開催、12月塾友杯少年柔道大会を支援します。

We will support the Boseiki Junior Martial Arts Championships (Judo category), to be held in October 2011. In November, we will hold judo classes in Ishinomaki City, Miyagi Prefecture. In December, we will support the Jukuyuhai Junior Judo Championships.

小説「姿三四郎」の英訳版制作

小説「姿三四郎」の英訳の開始、完成したものを広く配布します。

We will start translation of the Japanese novel “Sugata Sanshiro” into English. After completion of the translation, we will distribute the copies widely.

「柔道初級教則本」中国語版制作

2011年9月、中国南京市にて「柔道初級則本」の写真撮影を開始します。

In September 2011, in Nanjing, China, we will start taking photographs to be used for the Judo Beginners’ Manual.

子ども用リサイクル柔道衣を募集しています！

洗濯した柔道衣上下＋帯をセットにして、下記住所にヤマト運輸や佐川急便などの運送会社を使い、着払いでお送り下さい。

〒259-1292　神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学柔道研究室　NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局　宛

講演録・会報誌のバックナンバー

柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録・会報誌をご要望の方は、事務局0463-58-1211（内線3524）までご連絡下さい。講演録は、無料で配布しております。また、ホームページからもダウンロードすることが出来ます。

http://npo-jks.jp

NPO法人柔道教育ソリダリティー会報10号
制作・デザイン：柔道教育ソリダリティー事務局　宮本円　印刷：（株）プリントパック

2010年度　寄附・団体会員一覧

― Supporter ―

三井物産株式會社　財団法人 秋元国際奨学財団　東建 CORPORATION　新日本製鐵

東京倶楽部　UNIQLO　三菱商事　SPORTS & COMMUNICATION

東海大学　MIZUNO　マチのほっとステーション LAWSON　KOMATSU　TAISEI

MS&AD 三井住友海上　TOSHIBA　KANDA　Shuwa 秀和ビルメンテナンス株式会社　MUFG 三菱東京UFJ銀行

三井物産（株）、（財）秋元国際奨学財団、東建コーポレーション（株）、新日本製鐵（株）、（財）東京倶楽部、（株）ユニクロ、三菱商事（株）、（株）グローバルアリーナ、ミズノ（株）、（株）ローソン、（学）東海大学、（株）小松製作所、大成建設（株）、三井住友海上火災（株）、（株）東芝、（株）神田製作所、秀和ビルメンテナンス（株）、（株）三菱東京UFJ銀行

㈱active、㈱アサヒ、㈱アシックス、アスカコーポレーション㈱、㈱アットライズ、㈱ヴィーノ、植木会計事務所、㈱ME横浜、㈱大戸屋、大峰堂薬品工業㈱、㈱小倉屋柳本、㈱オネスト、㈻加計学園、㈱霞ヶ関東海倶楽部、神奈川柔道連盟、カネマツ運輸㈱、川中不動産㈱、㈲関西ブライダル、共和電子㈱、京王観光㈱、京王電鉄㈱、㈱廣洋、相模トライアム㈱、㈱スウィート・ベリー、㈱鈴廣蒲鉾本店、住友商事㈱、星槎グループ、綜合警備保障㈱、㈱ダイナミックスパースンズ東京、㈱築地すし好、土志田建設㈱、㈱テック、東海教育産業㈱、㈱東海教育研究所、東海大学女子柔道部、東海大学付属相模高等学校、㈶東京都柔道連盟、（医）徳真会グループ、日本BS放送㈱、（医）白磁会中ノ島センタービル歯科、羽田タートルサービス㈱、㈱富士サービス、㈱藤野製作所、丸竹コーポレーション㈱、㈱マツヒロ、医療法人社団　明正会、㈱メディカル　ラボ、㈱山安、㈱ユーミーネット、横浜市柔道協会、㈱ランクアップ平野屋、㈻了徳寺学園、㈻了徳寺大学、㈱わかば、㈱わくわくコーポレーション

（50音順）

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

http://npo-jks.jp

	個人	団体
正会員	220	47
寄付	23	19
アドバイザー	37	

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁の認定を受けました。本法人への寄付は寄付金控除、損金算入など税の優遇措置の対象となります。本法人の活動は、皆様からのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員（個人）一口 5,000円

（団体）一口 50,000円　※一口以上から受け付けます

寄付　特に定額はありません

■ 郵便振替　口座記号番号：00200-7-37175　加入者名：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込　三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕